



2023.8.5

No. 355

MONTHLY

れんごう

北海道

<https://www.rengo-hokkaido.gr.jp>

発行

日本労働組合総連合会 北海道連合会
〒060-8616 札幌市中央区北4条西12丁目 ほくろビル6F TEL (011) 210-0050 center@rengo-hokkaido.gr.jp

発行責任者 藤盛敏弘

2023平和行動 in 沖縄「北海道代表団」を派遣

一般住民を巻き込んだ凄惨な沖縄戦の終結から78年を迎える中、戦没者の霊を慰める「慰霊の日」と定められた6月23日に合わせ、2023平和行動in沖縄が実施された。

連合北海道は21日から25日の5日間、沖縄が直面している問題を学習し、今後の平和運動をさらに進めていくため15名の北海道代表団を派遣した。

北海道独自行動として、22日、伊江島観光バスの山城克己代表が自らバスのハンドルを握り、戦前・戦中・戦後の「沖縄の縮図」と言われる伊江島の平和フィールドワークを案内していただいた。

山城代表は「1945年3月23日からの空襲、25日から始まった艦砲射撃は、あらゆる建造物・目標物を攻撃した。米軍の上陸は4月16日から始まり21日に終了。たった6日間の戦闘で、約2,700名の日本軍と約4,000名の島民のうち4,706名もの命が奪われた。日本軍は戦闘訓練を受けていない住民まで含んだ戦力で、あらゆる近代兵器で装備した米軍と逃げ場の無い小さな島で大激戦が展開された。子ども・老人・女性にかかわらず部隊の都合で動員された。日本兵による住民虐殺。降伏を許さない教育と作戦による集団自決と集団死強要。さらに戦後、米軍による事故の中で、特に大きなものは、戦争が終わって3年の1948年8月に沖縄戦の不発弾を伊江島に集め、海中投棄していた米軍の爆弾運搬船が栈橋で大爆発を起こし、たまたま港に着いた連絡船も巻き込まれ102名が死亡し、73名が負傷した。危険な船が民間船と同居しているのが間違っていると



式典で挨拶する芳野連合会長

米軍に補償を求めたが、講和条約が締結されていない占領中だとして米軍は応じない。伊江島は『戦後の沖縄の縮図』でもある」と述べ、「平和運動は宗教・政治などにとらわれることなく、純粋な気持ちで取り組んでほしい。島の現実にあふれて、五感で島を感じてほしい」とフィールドワークを閉めた。

翌23日、2023平和オキナワ集会へ参加。集会前段、琉球大学人文社会学部准教授の山本章子さんから「日米地位協定と沖縄」と題し基調講演をいただき、米軍基地に関連する様々な事件・事故の問題や沖縄が抱える課題と在日米軍優遇に関する説明と、「日米地位協定」の問題点についての講演があった。

式典では主催者挨拶に立った連合本部芳野友子会長が、「今日に至るまで沖縄県の過重な米軍基地負担が続いていること、米軍基地があるゆえに起こる事件・事故





など、沖縄の抱えている問題は日本人全体の問題であり、連合は政府に対して、地域の想いに心を寄せる努力を、強く求めていきたい」と述べた。

「78年前、この地で何が起きたのか。参加される皆さん一人ひとりが、沖縄の実相に触れ、多くのことを感じ、学んでいただきたい」「平和なくして、私たちの暮らしも労働運動もない。皆さんの力で、世界の恒久平和を実現する。私たち一人ひとりが平和運動の担い手・発信者となり、この輪を一緒に広げていこう」との挨拶が行われた。

最終日の24日は、沖縄本島フィールドワークとして、瀬嵩の浜(辺野古、在日米海兵隊・キャンプシュワブ)・道の駅かでな(在日米空軍・嘉手納飛行場)・チビチリガマ・嘉数高台(中部戦跡、在日米海兵隊・普天間飛行場)嘉手納・普天間基地などを見学し、全国の米軍基地の70%以上が集中している現実を目の当たりにした。

参加者は今回の行動で平和について考え、得たもの



を今後の地協・産別での運動に生かしていただき、連合北海道としても、戦争がもたらした惨劇と実相を忘れることなく、さらに「米軍基地の整理・縮小」「日米地位協定の抜本改定」を求め平和運動を推進していく。

〈この記事のアドレス〉

<https://www.rengo-hokkaido.gr.jp/archives/8123>

北海道高校生平和大使が選考され活動を開始

北海道高校生平和大使派遣実行委員会(北海道退職者連合・連合北海道)は5月21日、札幌市内で選考会を



北海道高校生平和大使の福本さん(左)と上坂さん

開催し、全道21人の応募者中から、本年度の第26代(北海道第11代)北海道高校生平和大使に 上坂芽生さん(市立札幌開成中等教育学校4年)、福本響さん(旭川藤星高等学校3年)を選出した。

平和大使の2人は、5月26日に道庁で記者会見を行い、6月10・11日に広島での結団式と研修に参加、6月17日に札幌で本年度1回目の核兵器廃絶署名活動、6月28日は秋元札幌市長へ表敬訪問を行うなど、活発に活動を開始した。

6月10・11日、全国から22人の平和大使が被爆地・広島に結集し、研修と結団式が行われた。

10日の研修は元広島原爆資料館館長の原田浩さんの被爆講話から始まり、広島原爆資料館、原爆ドームや平和公園内の碑などを視察学習した。宿に帰ってからも寝る間も惜しんで、翌日の結団式での決意表明スピーチ原稿の推敲に取り組んだ。

翌11日の結団式では、多くのメディアが取材する中、北海道からの核兵器廃絶への思いを強く語った。

6月28日は札幌市 秋元市長へ表敬訪問を行った。

上坂さんは「戦争の実体験を語ることでできる方が少ない今、高校生平和大使の役割はとて大きくなっていると感じている。一人でも多くの方に被爆の惨状や悲しみを伝え、平和の輪を広げられるよう精一杯活動していく」と述べた。

福本さんは「昨年度から活動に参加しており(昨年度の長崎派遣者・被爆ピアノコンサート実行委員)、被爆者の方々からたくさん学んだ被爆証言や高校生平和大使に込められている思いを胸に刻み、これからの将来を担う自分たちと同世代、さらに若い世代も含めた様々な世代の方に核兵器廃絶や平和な世界の実現への関心を高めてもらえるよう頑張りたい」と述べた。

秋元札幌市長からは、国連欧州本部への訪問など平和大使の活動を通じて核兵器の廃絶や平和の尊さについて学ぶことを、若い人たちに広く発信してほしいと

激励があった。

7月17日は齊藤北海道勤労者安全衛生センター事務局長がキャスターを務めるFMラジオ「ワーク・ライフ・シナジー」に出演し、高校生平和大使になったきっかけや、核兵器廃絶一万人署名活動など今後の活動について、特に8月の長崎研修、国連欧州本部(スイス・ジュネーブ)訪問に向けての決意を述べた。

2人のこれまでの活動を話すラジオトークの中で、昨年の被爆ピアノコンサート札幌公演に観客として参加した上坂さんが、その感動・感想を「感想アンケート」として実行委員だった福本さんに手渡していたなど、ドラマのような運命的な出会いが判明。充実したラジオ出演となった。

現在、北海道高校生平和大使活動カンパと、国連欧州本部へ提出する「核兵器廃絶署名」をお願いしている。組合員の皆さんの積極的な取り組みをお願いする。

〈この記事のアドレス〉

<https://www.rengo-hokkaido.gr.jp/archives/8123>



広島で行われた結団式



大通公園で本年度1回目の署名活動



秋元札幌市長を表敬訪問



FMラジオ「ワーク・ライフ・シナジー」に出演

「雇用における男女平等に関する要請行動」

連合北海道男女平等参画推進委員会

連合北海道男女平等参画推進委員会は、6月8日に北海道労働局に対し、「雇用における男女平等に関する要請」を実施した。

はじめに、萩原委員長から北海道労働局雇用環境・均等部の石山部長に要請書を手渡したあと、「連合北海道は『男女平等参画社会』の実現をめざして取り組みを

展開しているが、『女性』に焦点を当てると、依然として課題が多い。コロナ禍でますますそれが浮き彫りになったが、物価高騰が追い打ちをかけている。政府は『第5次男女共同参画基本計画』を策定しているが、あらゆる環境整備を講じなければ、骨抜きになってしまう。実効を高めるために、要請事項を労働局の取り組みに積極的に反映してほしい」と挨拶した。

次に、和田事務局長から要請内容の趣旨説明があった。①雇用創出と生活困窮者への支援②仕事と育児・介護、不妊治療等が両立できる就業環境の整備③女性の活躍とジェンダー平等で多様性を認め合う社会の実現、の大きく3項目について要請した。

加えて参加者から、「両立支援に関して、依然休暇がとりにくい状況である。労働局として配慮をしてほしい」「ハラスメントが離職につながっていて、それは企業としてもデメリットであること、アウンティングは命に関わることであること、という認識を一致

させてほしい」「ハラスメントに関する委員会は、閉鎖的に行われていることが多い。第三者が参加することが必要である」という意見が挙げられた。

労働局からは、主に「情報提供の充実」「各種機関や団体との連携・協力」などに力を入れて取り組みをしていく、という回答があった。

最後に、石山雇用環境・均等部長から「いただいた意見を参考にして、今後も連携し協力して進めていきたい」、萩原委員長から「立場は異なっても、めざすものは同じなので、引き続き連携を」という話があり、要請行動は終了した。

連合北海道男女平等参画推進委員会は、今後も男性、女性といった性別に関わらず、誰もが安心してはたらき続けられる「男女平等参画社会」の実現に向けて取り組みを進めていく。

〈この記事のアドレス〉

<https://www.rengo-hokkaido.gr.jp/archives/8070>



8月の主な動き

■1日(火) 13:00/北海道教育会館

ゆたかな教育をめざす全道集会

■4日(金)~10日(木)

平和行動in広島・長崎

■12日(土) 13:00~13日(日) 16:00/旭川市

原爆パネル展

■23日(水) 10:00/ロイトン札幌

第11回執行委員会

■23日(水) 12:30/ロイトン札幌

組織・財政特別委員会第4回小委員会

■23日(水) 13:30/ロイトン札幌

第10回地協事務局長会議

■23日(水) 15:00/ロイトン札幌

連合 北海道ブロック地域協議会活動推進会議

■24日(木) 13:30/連合会館

第23回中央執行委員会

■28日(月) 10:00~29日(火)/旭川市

金属機械部門連絡会

イベントカレンダー